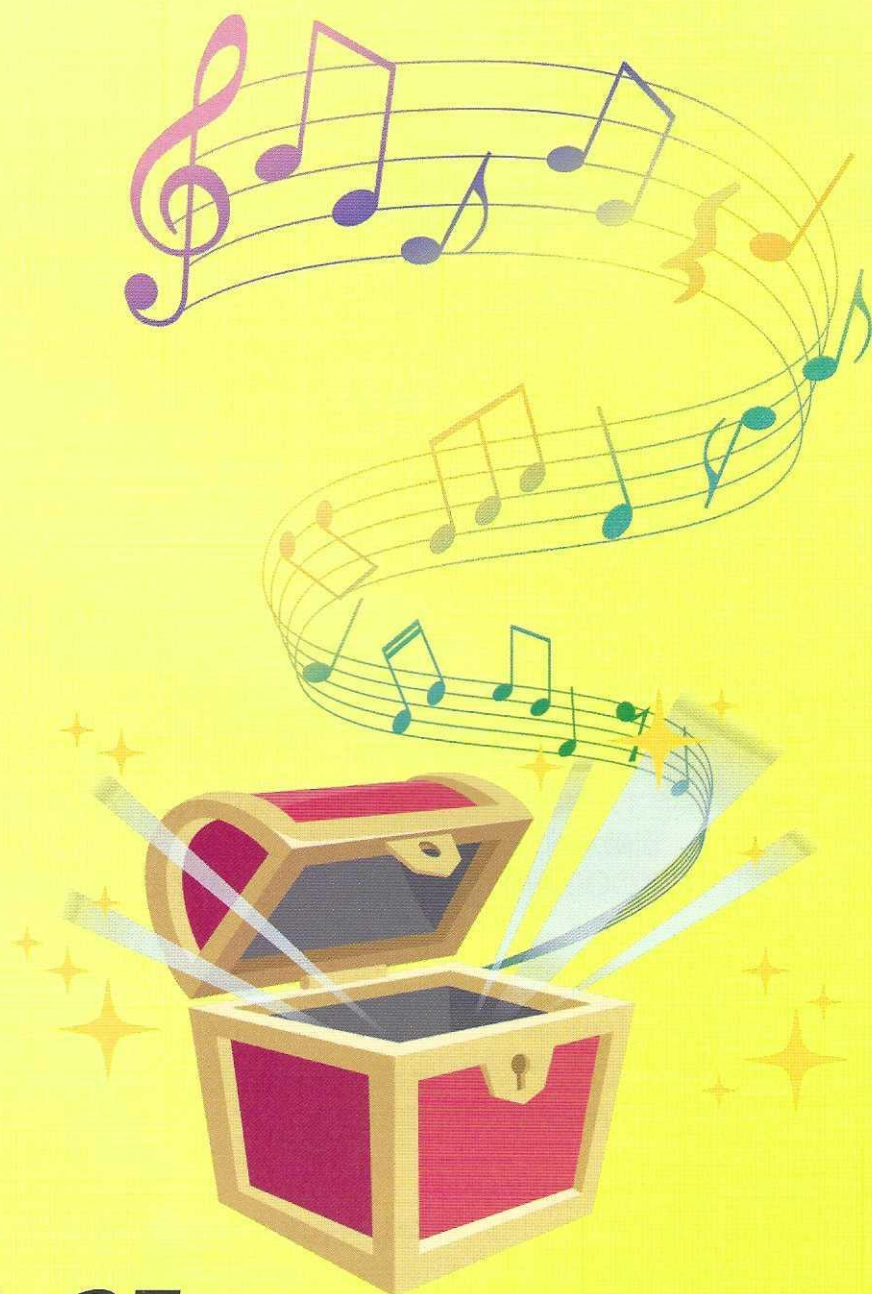


第2回

# コーラスの玉手箱

～かみがたの大学男声OB合唱団によるジョイントコンサート～



2022年**11月27**日（日） 14:00開演

於：川口総合文化センター・リリア 音楽ホール

主催：「コーラスの玉手箱」実行委員会



第1回 コーラスの玉手箱 (2018年10月14日開催)

## ご挨拶

本日は、「第2回 コーラスの玉手箱」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

「関西」の大学男声合唱団の「在京」OB合唱団の演奏を聴いていただこう！、という想いから、大阪外国語大学・大阪大学・甲南大学の在京OB3団体が、当時共通にお世話になっていた小貫先生のご縁もあり、2018年に記念すべき第1回が実現いたしました。

そして本日、めでたく第2回を迎える運びとなりました。

前回、記念すべき第1回は、前述3大学の在京OB合唱団3団体に加え、女声合唱団vie Soupleのみなさんに賛助出演していただき、素敵な美しいハーモニーで花を添えてくださいました。

今回の第2回は、新たに関西大学のOB合唱団が加わり、「関西の大学のOB合唱団」だけのコンサートになりました。

実は、このコンサートは2020年11月に開催が決まっておりましたが、コロナ禍により大変残念ながら延期という決断をせざるを得なくなりました。

しかし、コロナ禍を乗り越え、一団も欠けることなく、無事この日を迎えることが出来ました。全団体とも、この2年間の想いを精いっぱいぶつける演奏をさせていただきます。

今回のプログラムも、各団の個性が出ております。

男声合唱の定番ともいべきアカペラ作品、ピアノ連弾が入る現代曲、古典イタリア歌曲、そして長く歌い継がれてきた名曲。4ステージとも、様々な形での「男声合唱の醍醐味」を存分に味わっていただけたと思います。

なかなか明るいニュースのない世の中ではありますが、本日はしばしの間、「玉手箱」から飛び出す様々な形での「男声合唱の世界」をごゆっくり堪能ください。

第2回 コーラスの玉手箱 実行委員会 一同

# 指揮者・ピアニスト ご紹介 ※ステージ順

## ～指揮者～



### 辻本 太郎 *Taro Tsujimoto*

1987年関西大学入学と同時にグリークラブに入団。1990年に第41期指揮者に就任。卒業後はOB合唱団の『千里エコー』に参加。定期演奏会のアラカルトステージで指揮者デビュー。OB以外では転勤先の広島で男声合唱団に参加し、宝塚国際室内合唱コンクール等出演するなど合唱活動を継続。2014年の東京転勤でOBの『EAST合唱団』に参加し、2017年から指揮を担当。東京都合唱祭や東京都男声合唱フェスティバル、ファミリーコンサート等で演奏を行う。



### 西牧 潤 *Jun Nishimaki*

指揮を小林研一郎、斉田好男の両氏に師事。大学在学時に合唱団ボイスフィールドを創立、「世界を歌声の野原に」を合言葉に幅広い合唱活動を展開。現在、宝塚少年少女合唱団、甲南大学グリークラブ、クロワール、K.G.合唱の会、神戸ポートシンガーズなどの指揮者としての活動のほか、オペラの指揮、地域の音楽文化の振興などに力を注ぐ。芦屋合唱協会会長。平成指揮者十人の会、JCDA日本合唱指揮者協会関西支部役員、合唱人集団『音楽樹』同人、など。



### 小貫 岩夫 *Iwao Onuki*

同志社大学神学部卒業。同志社グリークラブに所属し、福永陽一郎指揮のもと、数々のステージで活躍。その後大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。95年「魔笛」タミーノ役に抜擢されデビュー。翌年ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場より招聘を受け同役で出演する。98年より文化庁派遣でミラノへ留学。2013年には天皇 皇后両陛下（当時）ご親覧のチャリティ・ボールで御前演奏を行い、お言葉をいただいた。二期会会員。東京藝術大学オペラ専攻非常勤講師。



### 甲和 伸樹 *Nobuki Kowa*

1977年大阪大学入学と同時に男声合唱団に入団、在学中にはパートリダ及び技術委員長、その直後にはOB合唱団である大阪男声合唱団の副指揮者を約3年務めた。東京に転居後の約10年間は合唱から離れたが、2001年大阪男声の東京練習開始を機に練習指導に携わり、以降は定期演奏会、東京支部単独演奏、他合唱団との合同ステージなどを指揮。居住地千葉県松戸近隣の合唱団の運営や技術スタッフとしても活動の幅を広げている。

## ～ピアニスト～



### 坂田 百合子 *Yuriko Sakata*

国立音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業。イタリアでオペラ歌手の演奏旅行に同行するなど声楽・合唱の伴奏や室内楽とのアンサンブルを数多く手がけている。ピアノ、室内楽、伴奏法を岩崎淑、賀集裕子、チェンバロを新谷久子の各氏に師事。近年は港区文化財団所属の合唱団指導陣に加わり大友直人の指導を受けている。大阪男声合唱団とは10年以上のかかわり、東京甲陵会合唱団では3年前よりピアニストをつとめている。



### 小澤 陽子 *Yoko Ozawa*

国立音楽大学附属高校音楽科、国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノ、室内楽、伴奏法、和声学を照澤維佐子、今野信子、國越健司の各氏に師事。在学中より数々の演奏会に出演。またオーケストラとの共演、山梨、東京にてジョイントコンサートを開催。伴奏ピアニストとしてアメリカ、ヨーロッパ等合唱団、声楽家の演奏旅行に同行。これまでに第9、甲府市交響詩、オペラ魔笛、カルメン等コレペティトールを務めている。



### 多田 聡子 *Satoko Tada*

東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中より内外の著名な演奏家と共演を重ね、卒業年度より同大学声楽科にて伴奏助手を務める。宮内庁主催皇居桃華楽堂御前演奏会に出演。ジャンルにとられないユニークな演奏活動では「X-JAPAN」YOSHIKIのピアノを個人指導し、NHKホール、日本武道館、東京ドームにて共演。ソリストを支える共演者として特に声楽の分野で定評があり、テノール小貫岩夫のウェブサイトでも度々共演。東京藝術大学非常勤講師。

# PROGRAM

- OPENING -

## エール交歓

### 1st Stage

#### 関西大学グリークラブOB合唱団

男声合唱組曲「動物たちのコラール 第Ⅳ集」

原詩:C.B.デ・ガストルド 訳詩:宮澤 邦子 作曲:萩原 英彦

指揮:辻本 太朗

かめの祈り  
子豚の祈り  
牡牛の祈り  
子馬の祈り  
みつばちの祈り

### 2nd Stage

#### 甲陵会合唱団（甲南大学）

「二つの祈りの音楽」 男声合唱とピアノ連弾のための

作詩:宗 左近

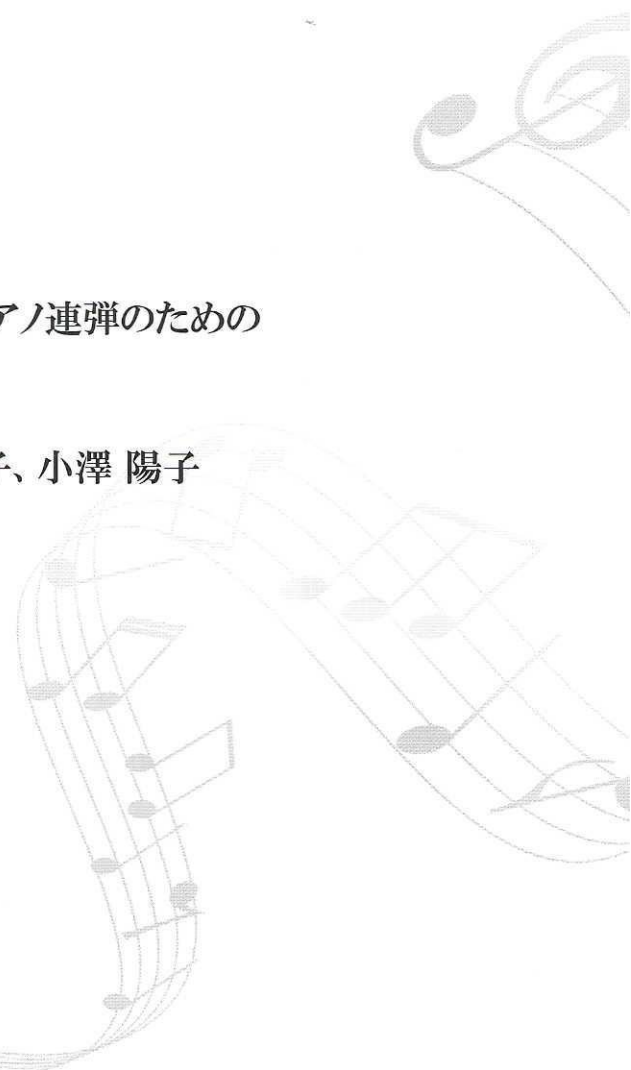
作曲:松本 望

指揮:西牧 潤

ピアノ:坂田 百合子、小澤 陽子

夜ノ祈り  
永遠の光

～ intermission ～



### 3rd Stage

## 大阪外国語大学グリークラブOB合唱団

### 古典イタリア歌曲集

編曲：福永 陽一郎

指揮：小貫 岩夫      ピアノ：多田 聡子

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| Amarilli, mia bella    | (アマリリ 麗し)       |
| Già il sole dal Gange  | (太陽は昇りぬ ガンジスより) |
| Ombra mai fu           | (永遠に茂る木陰よ)      |
| Chi vuol la zingarella | (ジプシイ娘を呼ぶのは誰?)  |
| Piacer d'amor          | (愛のよろこび)        |

### 4th Stage

## 大阪男声合唱団 (大阪大学)

男声合唱のための組曲「旅」より

作詩：山之井 慎・田中 清光      作曲：佐藤 眞

指揮：甲和 伸樹      ピアノ：坂田 百合子

旅立つ日  
村の小径で  
なぎさ歩めば  
かごにのって  
旅のあとに  
行こうふたび

### 合同演奏

### 「男声合唱愛唱曲集」

秋のピエロ      (作詩：堀口 大学 作曲：清水 脩)      指揮：甲和 伸樹

柳河      (作詩：北原 白秋 作曲：多田 武彦)      指揮：辻本 太朗

Ride the Chariot (黒人霊歌 編曲：福永 陽一郎)      指揮：西村 信勝

見上げてごらん夜の星を

(作詩：永 六輔 作曲：いずみたく 編曲：奏 実)      指揮：松田 博義

## 1st Stage



# 男声合唱組曲「動物たちのコラール 第Ⅳ集」

男声合唱組曲「動物たちのコラール第Ⅳ集」は1983年に一橋大学男声合唱団コール・メルクールによる委嘱で萩原秀彦氏により作曲された。1980年に第Ⅰ集が混声合唱組曲として完成したが、詩集の最終作品としての第Ⅳ集が、合唱の原点ともいえる男声アカペラ曲になったのは、作曲者のこれらの連作をまるでひとつの日記のようにとらえていたことの集約点だったのかもしれない。

作曲者の萩原英彦氏（1933～2001）はフランス滞在中にこの作品群の着想を思い浮かべられたそうで、悠揚な自然と宗教曲的な雰囲気が相まって、是非とも今後も残していきたい合唱作品の一つである。

テキストはフランスの詩人 カルメン・ベルノス・デ・ガストルド氏（1919～1995）によって書かれ、宮澤邦子氏により訳された「箱舟からの祈り」という詩集で、ノアの方舟をベースにした動物たちの言葉が収められている。この作品が作られたのは第2次世界大戦後のドイツ占領下にあるフランスで、動物たちの姿を借りて、つらい日常から夢を見たり助けを求めることなく、ありのままの日常を受け入れつつもなすべきこと（＝生き続けていくこと）を伝えていくことであり、まさに今世界中のあちこちで起きている侵略や侵攻に抗って強く生きている人々に重なってくるメッセージでもある。

「かめの祈り」「子豚の祈り」「牡牛の祈り」「子馬の祈り」「みつばちの祈り」の5曲からなる組曲。全体的に破綻のない調性とリズムで昨今の合唱曲に比べると、どちらかといえば保守的な作品になるが、それが故に動物の姿を借りた人間の心の奥に潜む思いを純粋に表現され、聴く方にも受け入れやすい作品になっている。曲ごとのキャラクターの違い、それぞれの思いを共感いただければ幸いである。

なお、作品中の「かめの祈り」及び「子馬の祈り」は、全日本合唱コンクールの課題曲として過去に取り上げられている。  
辻本太郎

## 関西大学グリークラブOB合唱団

関西大学グリークラブOB会は1975年に発足しました。

通常は関東の「EAST合唱団」と関西の「千里エコー」として各々活動しております。

「EAST合唱団」は1992年に活動を開始、毎月第2、第4土曜日に、関西大学東京センター、代々木オリンピックセンターにて練習しています。

いくつになっても「チャレンジすることを忘れないこと」をモットーに、合唱祭や男声合唱フェスティバルへの参加、ファミリーコンサートを開催するなど積極的に活動しています。

本日は、関西で活動している「千里エコー」のメンバーも加わり「関西大学グリークラブOB合唱団」として演奏いたします。



### 【今後の予定】

#### ・ 第78回東京都合唱祭

日時：2023年7月予定

場所：新宿文化センター/第一生命ホール

#### ・ 第12回「千里エコー」定期演奏会

日時：2023年7月2日(日)

場所：ドーンセンター



## 「二つの祈りの音楽」 男声合唱とピアノ連弾のための

第一楽章「夜ノ祈り」で死者の言葉として語られる“夢”が、第二楽章「永遠の光」では人が生きていく上で最も大切なものとして語られます。“夢”というキーワードがこの壮大な作品を包んでいます。

テキストは宗左近のいくつかの詩の中から松本望の意思によって選ばれています。

「夢」というキーワードで作品を包んでいるのも、いくつかの詩から選ばれているということも、この作品は松本望の作詞とも言えるほどに作曲者の強い意志がはたらいっているように感じます。合唱には必ず歌詞があり、それを私たちは大切にしようと考えますが、合唱における詩を私たちは作曲家を通して見ているわけです。ですので、大切なことは、作曲家が詩をどう捉え、それをどんな音に表したか、ということなんだと思っています。

松本望は宗左近の詩を体全体で受け止め、そのエネルギーに圧倒されながらも人間の弱さや醜さをもついた言葉に強く反応しながら、音楽でその真理に迫ろうとしているように思えます。

また、第二楽章では宗左近の詩にラテン語のミサの典礼文から「Lux aeterna」（光あれ！）を選び加えられています。この楽章では“ただ一つの光、それこそが夢”という言葉が三回歌われますが、この作品のクライマックスともいべきこの部分の和音付けを三回目だけ変えることで、この作品のテーマともいべき“夢”という言葉がより印象付けられることになります。

この時期にこの作品を演奏したことの意味は、コロナ禍にあって、大学は歌うことを禁じ、社会はまるで合唱を悪のように扱う中で、次第に疲弊していった大学合唱、とりわけ部員がゼロになった甲南大学グリークラブのことを思う時、この作品が「私を音にして！」と近づいてきたことによります。

そして今も世界中で続く人の命の尊厳に関わる出来事、この作品への思いは深まっていくばかりです。

私たちは、夢や希望は果てない絶望の先にあるということを少しでも知っています。

この曲の最後に全力で歌われる「それこそが夢！」という言葉こそ、混声合唱団として再出発した甲南大学グリークラブはじめ、全ての大学合唱団に向けられた私たちの想いに他なりません。

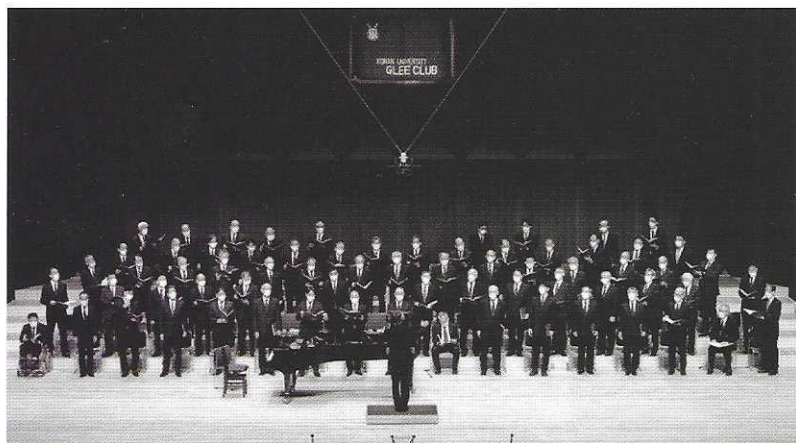
この作品は2016年5月にCANTUS ANIMAEによってまず混声版が初演され、同年12月に慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団によって男声版が初演されています。（文中敬称略）

## 甲陵会合唱団（甲南大学）

甲陵会合唱団は、神戸 六甲山の南にある甲南大学のグリークラブOBを中心として結成された合唱団で、神戸と東京で活動しています。

甲南大学グリークラブは昨年創部70周年を迎え、コロナ禍で延期した創部70周年記念演奏会を今年の9月に神戸で盛大に開催しました。創部当時は僅か7名でのスタートでしたが、その後は100名を超える部員を数え、国内各地への演奏旅行、オーストラリア演奏旅行、テレビ、ラジオへの出演、他大学とのジョイント演奏会を行う等、活発に活動を行ってきました。OBになっても歌うことの楽しさを忘れられずに神戸と東京で活動を続けています。

本日は、学生時代から共に歌った仲間もいます。歳は経てもこのように一緒に歌い、しかも関西の大学が関東で共に歌えるのは本当に素晴らしいことだと思います。今日も気持ちは学生のままの歌声を皆様感じて頂ければ幸いです。



### 【今後の予定】

#### ・ Pray From Kobe2023メインコンサート

日時：2023年1月22日（日）

場所：神戸文化大ホール

男声合同演奏への有志参加

#### ・ 学習院大学OB男声合唱団 45周年記念演奏会

日時：2023年3月19日（日）

場所：オペラシティ リサイタルホール

賛助出演

#### ・ 兵庫県合唱祭

日時：2023年6月



## 古典イタリア歌曲集

古典イタリア歌曲とは、バロック時代（1600年～1750年頃）に作曲された独唱歌をいいます。古典イタリア歌曲の多くはイタリアの作曲家によるものですが、本日演奏する「Ombra mai fu」や「Piacere d'amor」のように、イタリア以外の作曲家の歌もあります。曲の種類も、独唱歌曲だけでなく、オペラのアリア、マドリガーレ（イタリアで生まれた多声歌曲の一形式）など多岐にわたっています。

- ・ Amarilli, mia bella （アマリリ 麗し） 作曲：Giulio Caccini（1516-1614）  
タイトルにあるアマリリは女性の名前で、「アマリリ、私の美しいひとよ、信じてくれないのか、あなたが私の愛する人だということを」と切ない気持ちを歌います。
- ・ Già il sole dal Gange （太陽は昇りぬ ガンジスより） 作曲：Alessandro Scarlatti（1659-1725）  
オペラ『愛の誠』の中のアリア。「太陽はガンジス河から昇り、一段と輝きを増し、夜露を一つ一つ磨き上げている」と、太陽が昇る情景を躍動感あふれる旋律で活き活きと歌いあげます。
- ・ Ombra mai fu （永遠に茂る木陰よ） 作曲：Georg Friedrich Händel（1685-1759）  
オペラ『セルセ』のなかのアリア。「ヘンデルのラルゴ」と呼ばれ、今でも愛唱されています。「こんな木陰は今までになかった。どれよりも愛しく、愛らしく、そして優しく、心地よい」と、1本の樹を眺めながら歌います。ウイスキーのCMを通して日本でも広く知られるようになりました。
- ・ Chi vuol la zingarella （ジプシー娘を呼ぶのは誰？） 作曲：Giovanni Paisiello（1741-1816）  
オペラ『市場のジプシーたち』の中で歌われます。ジプシーの女性が意地悪な金持ちたちに対して、「ジプシー娘をお望みなのはどなた？ 優雅に踊り、知恵深く、美しい私でしたら、皆様ここにおりましてよ」と軽快なテンポで歌いかけます。
- ・ Piacere d'amor （愛のよろこび） 作曲：Giovanni Martini（1741-1816）  
「愛の喜び、それは一瞬の輝き、愛の苦しみ、それは一生の痛み」と愛を失った男の心の傷を歌います。エルヴィス・プレスリーの「Can't Help Falling In Love」の原曲にもなりました。

## 大阪外国語大学グリークラブOB合唱団

大阪外国語大学グリークラブOB合唱団は、1998年に関東地区で、また2001年に関西地区で結成されました。現在東京では20名強のメンバーが小貫岩夫（2002年～）、坂井美樹（2013年～）両先生の指導の下で練習を行っています。合唱組曲「月光とピエロ」の作曲家である清水脩は我々の大先輩であり、同氏の合唱曲は本団にとって欠かせないものとなっています。

団員の年齢層は40代から80代と幅広いですが、創部90周年、93年、95周年と定期的に単独の演奏会を開催するほか、他団とのジョイントコンサート、合唱祭への参加など積極的に活動を続けています。



### 【今後の予定】

#### ・ 第78回東京都合唱祭

日時：2023年7月予定  
場所：新宿文化センター/第一生命ホール

#### ・ 東京男声合唱フェスティバル

日時：2023年11月予定



## 男声合唱のための組曲「旅」より

「旅」は佐藤眞が1962年の文部省主催の芸術祭合唱部門に参加する目的でニッポン放送の依頼により作曲をした、全7曲からなる混声合唱のための組曲です。男声合唱版は1999年と2002年の2回に分けて編曲が行なわれ、その後2005年の改訂を経て、現在に至るまで数多くの合唱団に歌い継がれる名曲となっています。

この組曲には、曲ごとに当時ニッポン放送の専属ライターであった山之井愼が書きおろした朗読用の詩が用意されています。詩人 田中清光との共作による詩が、曲間の朗読詩によって繋がれることによって一連のストーリーとしてまとめられた組曲となり、演奏される曲に対して歌い手や聴き手がイメージ作りをしやすい構成になっています。

山之井愼が構成した朗読詩による設定では、この組曲の主人公ともいえる旅人は、高度成長期に突入した時代に生きた都会の機械工場で働く若者。その若者の旅に出ることのよこび、旅で出会った人々や情景への感動、時折は思うに任せることが出来ないことへの葛藤、そして若者ならではの前向きな立ち直りなどが、旅というテーマに沿って描かれています。

本日は、演奏時間の都合上、全7曲のうち以下の6曲を演奏し、朗読は割愛いたします。

1. 旅立つ日（作詩：田中 清光）  
さあ、旅に出発。力強く輝かしく risoluto で始まります。
2. 村の小径で（作詩：山之井 愼）  
のどかで素朴な日本の原風景の中の民話の世界。
4. なぎさ歩めば（作詩：山之井 愼）  
せつない思い出もありました。
5. かごにのって（作詩：田中 清光）  
昔からこの街道を人が行き来していたのでしょう。アカペラ曲です。
6. 旅のあとに（作詩：田中 清光）  
旅もおわりに。もとの現実にもどってしまうのだろうか・・・
7. 行こう ふたたび（作詩：田中 清光）  
旅に出て、自然に触れることにより、生きるよこびが生まれてきます。未来に希望があることを信じて

## 大阪男声合唱団（大阪大学）

大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OBの合唱団として1954年に発足しました、以来数年間阪大男声の定演への賛助出演や合唱祭への参加をしていましたが、その後20年余りは休眠状態でした。1982年に東京大、京都大、神戸大、大阪市大の在阪OB男声合唱団とのジョイントコンサートをきっかけに活動を再開し、90年代後半からは草創期のOB達が徐々に戻り合唱団体制も整備され、2001年には大阪にて第1回定演が開催出来るまでになりました。その後東京などでの定演開催も果たし、2012年からは大阪・東京交互に定演を開催しています。近年のコロナ渦により2020年の定演は中止となりましたが、2021年8月には大阪での20回記念定演、2022年7月には東京での第21回定演を開催しています。関東地区においては、2001年に有志により定演にむけた東京での練習を開始、その後、東京支部として単独のステージ活動も行っています。



### 【今後の予定】

#### ・ 大阪大学男声合唱団 第70回記念定期演奏会

日時：2023年1月22日(日) 14:30開演 (13:45開場)  
場所：吹田市文化会館 メイシアター大ホール  
出演：大阪大学男声合唱団、大阪大学男声合唱団OB会

#### ・ 第41回 四つの男声合唱の集い

日時：2023年5月13日(土)  
場所：兵庫県立芸術文化センターCOBELCO大ホール  
京都大学・神戸大学・大阪市立大学・大阪大学の各男声合唱団を母体とするOB合唱団のジョイントコンサート

#### ・ 第22回 大阪男声合唱団 定期演奏会

日時：2023年7月17日(月・祝) 場所：住友生命いずみホール



## 男声合唱のための組曲「旅」より

「旅」は佐藤眞が1962年の文部省主催の芸術祭合唱部門に参加する目的でニッポン放送の依頼により作曲をした、全7曲からなる混声合唱のための組曲です。男声合唱版は1999年と2002年の2回に分けて編曲が行なわれ、その後2005年の改訂を経て、現在に至るまで数多くの合唱団に歌い継がれる名曲となっています。

この組曲には、曲ごとに当時ニッポン放送の専属ライターであった山之井愼が書きおろした朗読用の詩が用意されています。詩人 田中清光との共作による詩が、曲間の朗読詩によって繋がれることによって一連のストーリーとしてまとめられた組曲となり、演奏される曲に対して歌い手や聴き手がイメージ作りをしやすい構成になっています。

山之井愼が構成した朗読詩による設定では、この組曲の主人公ともいえる旅人は、高度成長期に突入した時代に生きた都会の機械工場で働く若者。その若者の旅に出ることのよこび、旅で出会った人々や情景への感動、時折は思うに任せることが出来ないことへの葛藤、そして若者ならではの前向きな立ち直りなどが、旅というテーマに沿って描かれています。

本日は、演奏時間の都合上、全7曲のうち以下の6曲を演奏し、朗読は割愛いたします。

1. 旅立つ日（作詩：田中 清光）  
さあ、旅に出発。力強く輝かしく risoluto で始まります。
2. 村の小径で（作詩：山之井 愼）  
のどかで素朴な日本の原風景の中の民話の世界。
4. なぎさ歩めば（作詩：山之井 愼）  
せつない思い出もありました。
5. かごにのって（作詩：田中 清光）  
昔からこの街道を人が行き来していたのでしょう。アカペラ曲です。
6. 旅のあとに（作詩：田中 清光）  
旅もおわりに。もとの現実にもどってしまうのだろうか・・・
7. 行こう ふたたび（作詩：田中 清光）  
旅に出て、自然に触れることにより、生きるよろこびが生まれてきます。未来に希望があることを信じて

## 大阪男声合唱団（大阪大学）

大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OBの合唱団として1954年に発足しました、以来数年間は大阪男声の定演への賛助出演や合唱祭への参加をしていましたが、その後20年余りは休眠状態でした。1982年に東京大、京都大、神戸大、大阪市大の在阪OB男声合唱団とのジョイントコンサートをきっかけに活動を再開し、90年代後半からは草創期のOB達が徐々に戻り合唱団体制も整備され、2001年には大阪にて第1回定演が開催出来るまでになりました。その後東京などでの定演開催も果たし、2012年からは大阪・東京交互に定演を開催しています。近年のコロナ禍により2020年の定演は中止となりましたが、2021年8月には大阪での20回記念定演、2022年7月には東京での第21回定演を開催しています。関東地区においては、2001年に有志により定演にむけた東京での練習を開始、その後、東京支部として単独のステージ活動も行っています。



### 【今後の予定】

#### ・ 大阪大学男声合唱団 第70回記念定期演奏会

日時：2023年1月22日(日) 14:30開演 (13:45開場)  
場所：吹田市文化会館 メシアター大ホール  
出演：大阪大学男声合唱団、大阪大学男声合唱団OB会

#### ・ 第41回 四つの男声合唱の集い

日時：2023年5月13日(土)  
場所：兵庫県立芸術文化センター-COBELCO大ホール  
京都大学・神戸大学・大阪市立大学・大阪大学の各男声合唱団を母体とするOB合唱団のジョイントコンサート

#### ・ 第22回 大阪男声合唱団 定期演奏会

日時：2023年7月17日(月・祝) 場所：住友生命いずみホール



## 「男声合唱愛唱曲集」

合同ステージに関しては、コロナ禍という環境もありステージそのものをどうするかという議論も行いました。その結果、せっかく4団体が集まり、これだけの人数で男声合唱を演奏し、また聴いていただけるよい機会ですので、合同ステージをさせていただくこととしました。

曲目は、様々な検討の末、男声合唱における定番と言える愛唱曲集を選びました。単独ステージとはまた違った形で、大人数による男声合唱の醍醐味を、ぜひお楽しみください。

### 【曲目解説】

#### 秋のピエロ （男声合唱組曲「月光とピエロ」より）

「秋のピエロ」は、清水脩が堀口大學の処女詩集「月光とピエロ」の詩4篇と「EX-VOTO(ささげ物)」の詩1篇をもとに構成・作曲をした、男声合唱組曲「月光とピエロ」の第2曲です。この合唱組曲という形式は清水脩がこの楽曲で、世界で初めて世に出したと云われています。心の中は悲しみに咽びつつも、道化をしつづけなくてはならないピエロの「身のつらさ」は、さまざまな人生の場面において私たちの身にも痛切に染みます。盛夏を過ぎて少し物寂しい「秋」のピエロ、「身過ぎ世過ぎの是非もなく」という言葉には、さまざまな社会人生活を過ごすにつれ、若かりし頃よりも共感が深くなってきたように思われます。

#### 柳河 （男声合唱組曲「柳河風俗詩」より）

北原白秋（1885～1942）の生まれ故郷の柳河（現在の福岡県柳川市）の水郷の思い出を馭者の語りに託した曲です。1954年に多田武彦（1930～2017）により作曲され、処女作となる作品です。

イ短調の主テーマと長調のソロで、柳河の風景と不憫な人生を送る少女の姿のコントラストを描いています。

### Ride the Chariot

黒人霊歌は、アフリカ各地から奴隷としてアメリカに強制的に移住させられた黒人たちが、奴隷生活の苦しみのなかで、基督教に救いを求めて歌った心の叫びともいえる音楽です。したがって、黒人霊歌の歌詞には聖書を題材にしたものが多く、本日演奏する“Ride the Chariot”も、旧約聖書の「預言者エリヤが火の戦車が現れたときに天に昇った」という聖句から、戦車（chariot）を天国に行く乗り物として捉えて「戦車に乗って主のいる天国に行こう」と歌います。リーダーが声をかけ、それに応えるというコール＆レスポンスの形式で、「用意はいいかね兄弟よ」「ああいいとも」「イエスにお会いしたいかね」「もちろんですとも。支度ができて戦車を待っているんです。私は戦車に乗って主に会いに行くんです」と歌います。

### 見上げてごらん夜の星を

「見上げてごらん夜の星を」は1960年7月初演の同名のミュージカルの劇中歌として登場しました。1960年の「所得倍増政策」から日本の高度経済成長が始まります。しかしその頃の日本はまだ貧しく、地方から多くの若者が上京して集団就職し、働きながら定時制高校で学んでいました。ミュージカル「見上げてごらん夜の星を」は定時高校に通う高校生の青春をモチーフにしています。「見上げてごらん夜の星を」の歌詞では、定時制高校に通いながら、苦しいときには故郷を思い出し、明日への希望につなぎたいという心情を語り、長調の曲ながら切なく甘い旋律が、純粋な心情と優しさや希望を与えてくれると思います。

# 出演メンバー

## 関西大学グリークラブOB合唱団

|      |       |       |       |       |       |       |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| T1 : | 宗友 従員 | 山岸 賢治 | 田中 剛  | 田中 照勝 | 小栗 知之 | 北井 俊之 |
| T2 : | 森本 修一 | 西岡 祐司 | 中山 辰也 | 辻本 太朗 | 玉山 英樹 | 伊奈 博之 |
| B1 : | 松崎 茂夫 | 柿木 薫  | 栗本 卓司 | 谷 幸雄  | 福家 和彦 | 田村 太作 |
|      | 小川 隆司 | 長井 大輝 | 角田 敦史 |       |       |       |
| B2 : | 土井 啓実 | 村田 郁宏 | 大山 惠嵩 | 酒井 浩美 | 関本 典英 | 山崎 勝久 |
|      | 藤元 武彦 | 松原 幹治 | 塔筋 浩司 | 阪田 昌英 | 竹内 孝夫 | 森脇 康生 |
|      | 中井 肇  | 樋口 晃  |       |       |       |       |

## 甲陵会合唱団

|      |       |       |        |       |       |       |
|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| T1 : | 松下 裕紀 | 中平 悟  | 井上 陽介  | 太田 竹信 | 濱崎 修二 | 緒方 正裕 |
|      | 小林 滋太 |       |        |       |       |       |
| T2 : | 酒井 裕  | 西牧 潤  | 石黒 裕章  | 前田 淳造 | 松田 博義 | 岡庭 素之 |
|      | 深田 義則 | 高橋 克明 | 柴谷 正則  |       |       |       |
| B1 : | 東 伸亮  | 野本 良平 | 杉浦 康介  | 岡室 正則 | 成田 知弥 | 山田 紘士 |
|      | 半澤 裕介 |       |        |       |       |       |
| B2 : | 鷺池 孝雄 | 山本 宏之 | 津井田 篤一 | 南波 展樹 | 岩室 勝也 | 林 純一郎 |
|      | 古川 方理 | 清水 英樹 | 道下 和樹  |       |       |       |

## 大阪外国語大学グリークラブOB合唱団

|      |       |       |       |       |       |        |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| T1 : | 伊東 昭廣 | 西村 信勝 | 板村 哲也 | 五十嵐 強 | 中平 悟  | 片渕 明広  |
|      | 保川 一治 |       |       |       |       |        |
| T2 : | 西沢 毅彦 | 赤城 一字 | 竹尾 彰  | 加藤 直樹 | 勝原 尚実 | 杉本 啓一郎 |
|      | 永谷 勉  |       |       |       |       |        |
| B1 : | 新出 武雄 | 西川 哲朗 | 藤田 梧郎 | 浜崎 慎吾 | 飯塚 一雄 | 鵜飼 茂   |
|      | 岸本 保  | 栗生 昇  | 松村 尚人 |       |       |        |
| B2 : | 大井 耐三 | 真鍋 一史 | 南 雄次  | 上崎 雅也 | 米野 勝  | 片川 徳明  |
|      | 前田 芳秀 | 山口 伸  |       |       |       |        |

## 大阪男声合唱団

|      |       |        |       |        |        |       |
|------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| T1 : | 国分 和夫 | 栗山 和郎  | 上田 勝己 | 榎木 勘四郎 | 村田 洋一  |       |
| T2 : | 宇野 肇  | 富田 義人  | 詠田 英夫 | 江守 茂和  | 宇都宮 道夫 |       |
| B1 : | 淵山 正樹 | 福井 朗   | 橋本 達弥 | 奥野 和人  | 宮内 誠司  | 清田 展弘 |
| B2 : | 木戸 啓喜 | 佐々木 泰介 | 木田 英之 | 鈴木 啓司  | 甲和 伸樹  | 樽井 一仁 |



※万一、演奏会後一週間以内に新型コロナに感染された場合は、下記内容のご連絡をお願いいたします。

・座席位置（座席番号がわからない場合は、「後ろ半分ステージに向かって右」などわかる範囲で結構です）

送信先 : tamate2022@choruslib.net

# 指揮者・ピアニスト ご紹介 ※ステージ順

## ～指揮者～



### 辻本 太郎 *Taro Tsujimoto*

1987年関西大学入学と同時にグリークラブに入団。1990年に第41期指揮者に就任。卒業後はOB合唱団の『千里エコー』に参加。定期演奏会のアラカルトステージで指揮者デビュー。OB以外では、転勤先の広島で男声合唱団に参加し、宝塚国際室内合唱コンクール等出演するなど合唱活動を継続。2014年の東京転勤でOBの『EAST合唱団』に参加し、2017年から指揮を担当。東京都合唱祭や東京都男声合唱フェスティバル、ファミリーコンサート等で演奏を行う。



### 西牧 潤 *Jun Nishimaki*

指揮を小林研一郎、斉田好男の両氏に師事。大学在学時に合唱団ボイスフィールドを創立、「世界を歌声の野原に」を合言葉に幅広い合唱活動を展開。現在、宝塚少年少女合唱団、甲南大学グリークラブ、クロワール、K.G.合唱の会、神戸ポートシンガーズなどの指揮者としての活動のほか、オペラの指揮、地域の音楽文化の振興などに力を注ぐ。芦屋合唱協会会長。平成指揮者十人の会、JCDA日本合唱指揮者協会関西支部役員、合唱人集団『音楽樹』同人、など。



### 小貫 岩夫 *Iwao Onuki*

同志社大学神学部卒業。同志社グリークラブに所属し、福永陽一郎指揮のもと、数々のステージで活躍。その後大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。95年「魔笛」タミーノ役に抜擢されデビュー。翌年ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場より招聘を受け同役で出演する。98年より文化庁派遣でミラノへ留学。2013年には天皇 皇后両陛下（当時）ご親覧のチャリティ・ボールで御前演奏を行い、お言葉をいただいた。二期会会員。東京藝術大学オペラ専攻非常勤講師。



### 甲和 伸樹 *Nobuki Kowa*

1977年大阪大学入学と同時に男声合唱団に入団、在学中にはパートリダ及び技術委員長、その直後にはOB合唱団である大阪男声合唱団の副指揮者を約3年務めた。東京に転居後の約10年間は合唱から離れたが、2001年大阪男声の東京練習開始を機に練習指導に携わり、以降は定期演奏会、東京支部単独演奏、他合唱団との合同ステージなどを指揮。居住地千葉県松戸近隣の合唱団の運営や技術スタッフとしても活動の幅を広げている。

## ～ピアニスト～



### 坂田 百合子 *Yuriko Sakata*

国立音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業。イタリアでオペラ歌手の演奏旅行に同行するなど声楽・合唱の伴奏や室内楽とのアンサンブルを数多く手がけている。ピアノ、室内楽、伴奏法を岩崎淑、賀集裕子、チェンバロを新谷久子の各氏に師事。近年は港区文化財団所属の合唱団指導陣に加わり大友直人の指導を受けている。大阪男声合唱団とは10年以上のかかわり、東京甲陵会合唱団では3年前よりピアニストをつとめている。



### 小澤 陽子 *Yoko Ozawa*

国立音楽大学附属高校音楽科、国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノ、室内楽、伴奏法、和声学を照澤維佐子、今野信子、國越健司の各氏に師事。在学中より数々の演奏会に出演。またオーケストラとの共演、山梨、東京にてジョイントコンサートを開催。伴奏ピアニストとしてアメリカ、ヨーロッパ等合唱団、声楽家の演奏旅行に同行。これまでに第9、甲府市交響詩、オペラ魔笛、カルメン等コレペティートルを務めている。



### 多田 聡子 *Satoko Tada*

東京藝術大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中より内外の著名な演奏家と共演を重ね、卒業年度より同大学声楽科にて伴奏助手を務める。宮内庁主催皇居桃華楽堂御前演奏会に出演。ジャンルにとらわれないユニークな演奏活動では「X-JAPAN」YOSHIKIのピアノを個人指導し、NHKホール、日本武道館、東京ドームにて共演。ソリストを支える共演者として特に声楽の分野で定評があり、テノール小貫岩夫のリサイタルでも度々共演。東京藝術大学非常勤講師。

# PROGRAM

- OPENING -

エール交歓

## 1st Stage

### 関西大学グリークラブOB合唱団

男声合唱組曲「動物たちのコラール 第Ⅳ集」

原詩:C.B.デ・ガストルド 訳詩:宮澤 邦子 作曲:萩原 英彦

指揮:辻本 太郎

かめの祈り  
子豚の祈り  
牡牛の祈り  
子馬の祈り  
みつばちの祈り

## 2nd Stage

### 甲陵会合唱団（甲南大学）

「二つの祈りの音楽」 男声合唱とピアノ連弾のための

作詩:宗 左近

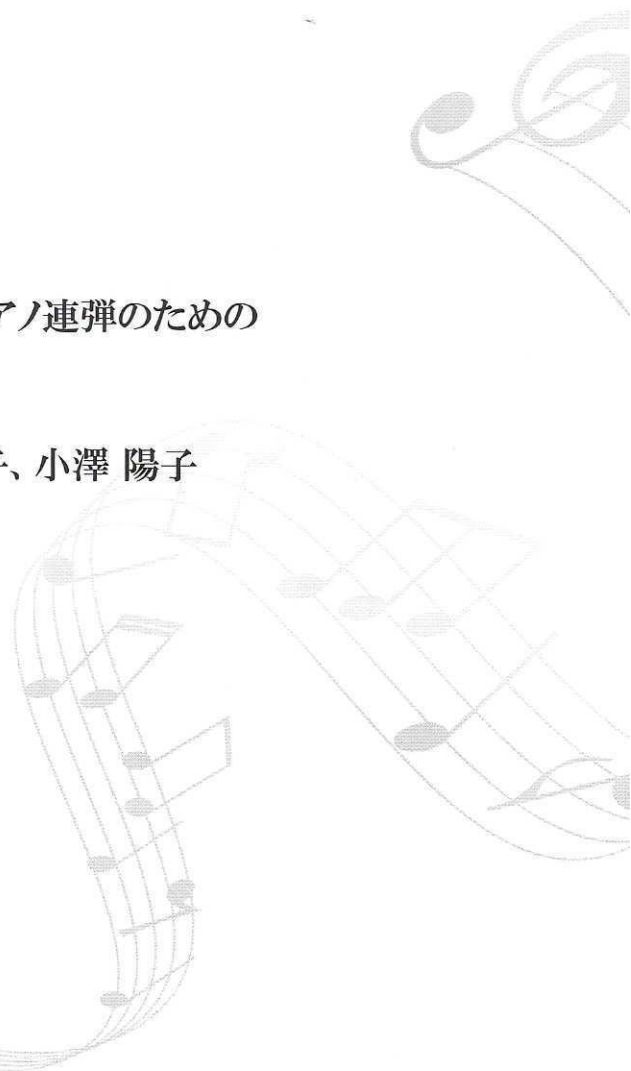
作曲:松本 望

指揮:西牧 潤

ピアノ:坂田 百合子、小澤 陽子

夜ノ祈り  
永遠の光

～ intermission ～





## 男声合唱のための組曲「旅」より

「旅」は佐藤眞が1962年の文部省主催の芸術祭合唱部門に参加する目的でニッポン放送の依頼により作曲をした、全7曲からなる混声合唱のための組曲です。男声合唱版は1999年と2002年の2回に分けて編曲が行なわれ、その後2005年の改訂を経て、現在に至るまで数多くの合唱団に歌い継がれる名曲となっています。

この組曲には、曲ごとに当時ニッポン放送の専属ライターであった山之井愼が書きおろした朗読用の詩が用意されています。詩人 田中清光との共作による詩が、曲間の朗読詩によって繋がれることによって一連のストーリーとしてまとめられた組曲となり、演奏される曲に対して歌い手や聴き手がイメージ作りをしやすい構成になっています。

山之井愼が構成した朗読詩による設定では、この組曲の主人公ともいえる旅人は、高度成長期に突入した時代に生きた都会の機械工場で働く若者。その若者の旅に出ることのよこび、旅で出会った人々や情景への感動、時折は思うに任せることが出来ないことへの葛藤、そして若者ならではの前向きな立ち直りなどが、旅というテーマに沿って描かれています。

本日は、演奏時間の都合上、全7曲のうち以下の6曲を演奏し、朗読は割愛いたします。

1. 旅立つ日（作詩：田中 清光）  
さあ、旅に出発。力強く輝かしく risoluto で始まります。
2. 村の小径で（作詩：山之井 愼）  
のどかで素朴な日本の原風景の中の民話の世界。
4. なぎさ歩めば（作詩：山之井 愼）  
せつない思い出もありました。
5. かごにのって（作詩：田中 清光）  
昔からこの街道を人が行き来していたのでしょう。アカペラ曲です。
6. 旅のあとに（作詩：田中 清光）  
旅もおわりに。もとの現実にもどってしまうのだろうか・・・
7. 行こう ふたたび（作詩：田中 清光）  
旅に出て、自然に触れることにより、生きるよろこびが生まれてきます。未来に希望があることを信じて

## 大阪男声合唱団（大阪大学）

大阪男声合唱団は、大阪大学男声合唱団(阪大男声)OBの合唱団として1954年に発足しました、以来数年間には阪大男声の定演への賛助出演や合唱祭への参加をしていましたが、その後20年余りは休眠状態でした。1982年に東京大、京都大、神戸大、大阪市大の在阪OB男声合唱団とのジョイントコンサートをきっかけに活動を再開し、90年代後半からは草創期のOB達が徐々に戻り合唱団体制も整備され、2001年には大阪にて第1回定演が開催出来るまでになりました。その後東京などでの定演開催も果たし、2012年からは大阪・東京交互に定演を開催しています。近年のコロナ渦により2020年の定演は中止となりましたが、2021年8月には大阪での20回記念定演、2022年7月には東京での第21回定演を開催しています。関東地区においては、2001年に有志により定演にむけた東京での練習を開始、その後、東京支部として単独のステージ活動も行っています。



### 【今後の予定】

#### ・ 大阪大学男声合唱団 第70回記念定期演奏会

日時：2023年1月22日(日) 14:30開演 (13:45開場)  
場所：吹田市文化会館 メシアター大ホール  
出演：大阪大学男声合唱団、大阪大学男声合唱団OB会

#### ・ 第41回 四つの男声合唱の集い

日時：2023年5月13日(土)  
場所：兵庫県立芸術文化センターCOBELCO大ホール  
京都大学・神戸大学・大阪市立大学・大阪大学の各男声合唱団を  
母体とするOB合唱団のジョイントコンサート

#### ・ 第22回 大阪男声合唱団 定期演奏会

日時：2023年7月17日(月・祝) 場所：住友生命いずみホール



## 「男声合唱愛唱曲集」

合同ステージに関しては、コロナ禍という環境もありステージそのものをどうするかという議論も行いました。その結果、せっかく4団体が集まり、これだけの人数で男声合唱を演奏し、また聴いていただけるよい機会ですので、合同ステージをさせていただくこととしました。

曲目は、様々な検討の末、男声合唱における定番と言える愛唱曲集を選びました。単独ステージとはまた違った形で、大人数による男声合唱の醍醐味を、ぜひお楽しみください。

### 【曲目解説】

#### 秋のピエロ（男声合唱組曲「月光とピエロ」より）

「秋のピエロ」は、清水脩が堀口大學の処女詩集「月光とピエロ」の詩4篇と「EX-VOTO(ささげ物)」の詩1篇をもとに構成・作曲をした、男声合唱組曲「月光とピエロ」の第2曲です。この合唱組曲という形式は清水脩がこの楽曲で、世界で初めて世に出したと云われています。心の中は悲しみに咽びつつも、道化をしつづけてはならないピエロの「身のつらさ」は、さまざまな人生の場面において私たちの身にも痛切に染みます。盛夏を過ぎて少し物寂しい「秋」のピエロ、「身過ぎ世過ぎの是非もなく」という言葉には、さまざまな社会人生活を過ごすにつれ、若かりし頃よりも共感が深くなってきたように思われます。

#### 柳河（男声合唱組曲「柳河風俗詩」より）

北原白秋（1885～1942）の生まれ故郷の柳河（現在の福岡県柳川市）の水郷の思い出を駁者の語りに託した曲です。1954年に多田武彦（1930～2017）により作曲され、処女作となる作品です。  
イ短調の主テーマと長調のソロで、柳河の風景と不憫な人生を送る少女の姿のコントラストを描いています。

### Ride the Chariot

黒人霊歌は、アフリカ各地から奴隷としてアメリカに強制的に移住させられた黒人たちが、奴隷生活の苦しみのなかで、キリスト教に救いを求めて歌った心の叫びともいえる音楽です。したがって、黒人霊歌の歌詞には聖書を題材にしたものが多く、本日演奏する“Ride the Chariot”も、旧約聖書の「預言者エリヤが火の戦車が現れたときに天に昇った」という聖句から、戦車（chariot）を天国に行く乗り物として捉えて「戦車に乗って主のいる天国に行こう」と歌います。リーダーが声をかけ、それに応えるというコール＆レスポンスの形式で、「用意はいいかね兄弟よ」「ああいいとも」「イエスにお会いしたいかね」「もちろんですとも。支度ができて戦車を待っているんです。私は戦車に乗って主に会いに行くんです」と歌います。

### 見上げてごらん夜の星を

「見上げてごらん夜の星を」は1960年7月初演の同名のミュージカルの劇中歌として登場しました。1960年の「所得倍増政策」から日本の高度経済成長が始まります。しかしその頃の日本はまだ貧しく、地方から多くの若者が上京して集団就職し、働きながら定時制高校で学んでいました。ミュージカル「見上げてごらん夜の星を」は定時高校に通う高校生の青春をモチーフにしています。「見上げてごらん夜の星を」の歌詞では、定時制高校に通いながら、苦しいときには故郷を思い出し、明日への希望につなぎたいという心情を語り、長調の曲ながら切なく甘い旋律が、純粋な心情と優しさや希望を与えてくれると思います。

### 3rd Stage

## 大阪外国語大学グリークラブOB合唱団

### 古典イタリア歌曲集

編曲：福永 陽一郎

指揮：小貫 岩夫      ピアノ：多田 聡子

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| Amarilli, mia bella    | (アマリリ 麗し)       |
| Già il sole dal Gange  | (太陽は昇りぬ ガンジスより) |
| Ombra mai fu           | (永遠に茂る木陰よ)      |
| Chi vuol la zingarella | (ジプシイ娘を呼ぶのは誰?)  |
| Piacer d'amor          | (愛のよろこび)        |

### 4th Stage

## 大阪男声合唱団 (大阪大学)

男声合唱のための組曲「旅」より

作詩：山之井 慎・田中 清光      作曲：佐藤 眞

指揮：甲和 伸樹      ピアノ：坂田 百合子

旅立つ日  
村の小径で  
なぎさ歩めば  
かごにのって  
旅のあとに  
行こうふたたび

### 合同演奏

### 「男声合唱愛唱曲集」

秋のピエロ      (作詩：堀口 大学 作曲：清水 脩)      指揮：甲和 伸樹

柳河      (作詩：北原 白秋 作曲：多田 武彦)      指揮：辻本 太朗

Ride the Chariot (黒人霊歌 編曲：福永 陽一郎)      指揮：西村 信勝

見上げてごらん夜の星を

(作詩：永 六輔 作曲：いずみたく 編曲：奏 実)      指揮：松田 博義

### 3rd Stage

## 大阪外国語大学グリークラブOB合唱団

### 古典イタリア歌曲集

編曲:福永 陽一郎

指揮:小貫 岩夫      ピアノ:多田 聡子

|                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| Amarilli, mia bella    | (アマリリ 麗し)       |
| Già il sole dal Gange  | (太陽は昇りぬ ガンジスより) |
| Ombra mai fu           | (永遠に茂る木陰よ)      |
| Chi vuol la zingarella | (ジプシイ娘を呼ぶのは誰?)  |
| Piacere d'amor         | (愛のよろこび)        |

### 4th Stage

## 大阪男声合唱団 (大阪大学)

男声合唱のための組曲「旅」より

作詩:山之井 慎・田中 清光      作曲:佐藤 眞

指揮:甲和 伸樹      ピアノ:坂田 百合子

旅立つ日  
村の小径で  
なぎさ歩めば  
かごにのって  
旅のあとに  
行こうふたたび

### 合同演奏

### 「男声合唱愛唱曲集」

秋のピエロ (作詩:堀口 大学 作曲:清水 脩)      指揮:甲和 伸樹

柳河 (作詩:北原 白秋 作曲:多田 武彦)      指揮:辻本 太朗

Ride the Chariot (黒人霊歌 編曲:福永 陽一郎)      指揮:西村 信勝

見上げてごらん夜の星を

(作詩:永 六輔 作曲:いずみたく 編曲:奏 実)      指揮:松田 博義



## 男声合唱組曲「動物たちのコラール 第Ⅳ集」

男声合唱組曲「動物たちのコラール第Ⅳ集」は1983年に一橋大学男声合唱団コール・メルクールによる委嘱で萩原秀彦氏により作曲された。1980年に第Ⅰ集が混声合唱組曲として完成したが、詩集の最終作品としての第Ⅳ集が、合唱の原点ともいえる男声アカペラ曲になったのは、作曲者のこれらの連作をまるでひとつの日記のようにとらえていたことの集約点だったのかもしれない。

作曲者の萩原英彦氏（1933～2001）はフランス滞在中にこの作品群の着想を思い浮かべられたそうで、悠揚な自然と宗教曲的な雰囲気相まって、是非とも今後も残していきたい合唱作品の一つである。

テキストはフランスの詩人 カルメン・ベルノス・デ・ガストルド氏（1919～1995）によって書かれ、宮澤邦子氏により訳された「箱舟からの祈り」という詩集で、ノアの方舟をベースにした動物たちの言葉が収められている。この作品が作られたのは第2次世界大戦後のドイツ占領下にあるフランスで、動物たちの姿を借りて、つらい日常から夢を見たり助けを求めることなく、ありのままの日常を受け入れつつもなすべきこと（＝生き続けていくこと）を伝えていくことであり、まさに今世界中のあちこちで起きている侵略や侵攻に抗って強く生きている人々に重なってくるメッセージでもある。

「かめの祈り」「子豚の祈り」「牡牛の祈り」「子馬の祈り」「みつばちの祈り」の5曲からなる組曲。全体的に破綻のない調性とリズムで昨今の合唱曲に比べると、どちらかといえば保守的な作品になるが、それが故に動物の姿を借りた人間の心の奥に潜む思いを純粋に表現され、聴く方にも受け入れやすい作品になっている。曲ごとのキャラクターの違い、それぞれの思いを共感いただければ幸いである。

なお、作品中の「かめの祈り」及び「子馬の祈り」は、全日本合唱コンクールの課題曲として過去に取り上げられている。  
辻本太郎

## 関西大学グリークラブOB合唱団

関西大学グリークラブOB会は1975年に発足しました。

通常は関東の「EAST合唱団」と関西の「千里エコー」として各々活動しております。

「EAST合唱団」は1992年に活動を開始、毎月第2、第4土曜日に、関西大学東京センター、代々木オリンピックセンターにて練習しています。

いくつになっても「チャレンジすることを忘れないこと」をモットーに、合唱祭や男声合唱フェスティバルへの参加、ファミリーコンサートを開催するなど積極的に活動しています。

本日は、関西で活動している「千里エコー」のメンバーも加わり「関西大学グリークラブOB合唱団」として演奏いたします。



### 【今後の予定】

#### ・ 第78回東京都合唱祭

日時：2023年7月予定

場所：新宿文化センター/第一生命ホール

#### ・ 第12回「千里エコー」定期演奏会

日時：2023年7月2日(日)

場所：ドーンセンター



## 「二つの祈りの音楽」 男声合唱とピアノ連弾のための

第一楽章「夜ノ祈り」で死者の言葉として語られる“夢”が、第二楽章「永遠の光」では人が生きていく上で最も大切なものとして語られます。“夢”というキーワードがこの壮大な作品を包んでいます。

テキストは宗左近のいくつかの詩の中から松本望の意思によって選ばれています。

「夢」というキーワードで作品を包んでいるのも、いくつかの詩から選ばれているということも、この作品は松本望の作詞とも言えるほどに作曲者の強い意志がはたらいているように感じます。合唱には必ず歌詞があり、それを私たちは大切にしようと考えますが、合唱における詩を私たちは作曲家を通して見ているわけです。ですので、大切なことは、作曲家が詩をどう捉え、それをどんな音に表したか、ということなんだと思っています。

松本望は宗左近の詩を体全体で受け止め、そのエネルギーに圧倒されながらも人間の弱さや醜さをもついた言葉に強く反応しながら、音楽でその真理に迫ろうとしているように思えます。

また、第二楽章では宗左近の詩にラテン語のミサの典礼文から「Lux aeterna」（光あれ！）を選び加えられています。この楽章では“ただ一つの光、それこそが夢”という言葉が三回歌われますが、この作品のクライマックスともいべきこの部分の和音付けを三回目だけ変えることで、この作品のテーマともいべき“夢”という言葉がより印象付けられることになります。

この時期にこの作品を演奏したことの意味は、コロナ禍にあつて、大学は歌うことを禁じ、社会はまるで合唱を悪のように扱う中で、次第に疲弊していった大学合唱、とりわけ部員がゼロになった甲南大学グリークラブのことを思う時、この作品が「私を音にして！」と近づいてきたことによります。

そして今も世界中で続く人の命の尊厳に関わる出来事、この作品への思いは深まっていくばかりです。

私たちは、夢や希望は果てない絶望の先にあるということを少しでも知っています。

この曲の最後に全力で歌われる「それこそが夢！」という言葉こそ、混声合唱団として再出発した甲南大学グリークラブはじめ、全ての大学合唱団に向けられた私たちの想いに他なりません。

この作品は2016年5月にCANTUS ANIMAEによってまず混声版が初演され、同年12月に慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団によって男声版が初演されています。（文中敬称略）

## 甲陵会合唱団（甲南大学）

甲陵会合唱団は、神戸 六甲山の南にある甲南大学のグリークラブOBを中心として結成された合唱団で、神戸と東京で活動しています。

甲南大学グリークラブは昨年創部70周年を迎え、コロナ禍で延期した創部70周年記念演奏会を今年の9月に神戸で盛大に開催しました。創部当時は僅か7名でのスタートでしたが、その後は100名を超える部員を数え、国内各地への演奏旅行、オーストラリア演奏旅行、テレビ、ラジオへの出演、他大学とのジョイント演奏会を行う等、活発に活動を行ってきました。OBになっても歌うことの楽しさを忘れられずに神戸と東京で活動を続けています。

本日は、学生時代から共に歌った仲間もいます。歳は経てもこのように一緒に歌い、しかも関西の大学が関東で共に歌えるのは本当に素晴らしいことだと思います。今日も気持ちは学生のままの歌声を皆様感じて頂ければ幸いです。



### 【今後の予定】

#### ・ Pray From Kobe2023メインコンサート

日時: 2023年1月22日（日）

場所: 神戸文化大ホール

男声合同演奏への有志参加

#### ・ 学習院大学OB男声合唱団 45周年記念演奏会

日時: 2023年3月19日（日）

場所: オペラシティ リサイタルホール

賛助出演

#### ・ 兵庫県合唱祭

日時: 2023年6月

※万一、演奏会後一週間以内に新型コロナに感染された場合は、下記内容のご連絡をお願いいたします。

・座席位置（座席番号がわからない場合は、「後ろ半分ステージに向かって右」などわかる範囲で結構です）

送信先：tamate2022@choruslib.net